

学校名 桶川市立桶川中学校
所在地 桶川市泉1-5-10
電話 048-787-1311

1 本校の概要

本校は、1年生から3年生まで5クラス、特別支援学級が2クラスの17クラスである。学校図書館は、学校司書の方と図書委員会の生徒を中心に昼休みと放課後に開館しているが、なかなか来館者数や貸出冊数が増えない現状があった。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・司書教諭、学校司書などを活用した取組
- ・学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

ア 来室者アップキャンペーンの実施

本校では、前年度1年間の来室者が近隣の中学校と比較して極端に少ないことがわかったため、「夏の本祭り」と題して、来室者アップキャンペーンを行った。生徒には、来室して本を借りたら1ポイントになる専用のカードを配布し、10ポイント貯まった(=10回来室して本を借りた)ら、図書委員や有志が作成した手作りのしおりをプレゼントして来室を促す取組である。



イ 図書だよりの発行

図書委員の生徒主体で発行するものと学校司書が発行するものに分かれており、多面的な視点で来室を促している。生徒主体のものには、生徒のおすすめの本や、委員会の取組の紹介などが中

心となっており、学校司書が発行するものは、月別の貸出冊数や来室者の人数、新しく購入した本の紹介などが中心である。



生徒主体の図書だよりで紹介した本を、図書室内で紹介、貸出している。

ウ 来館しやすい雰囲気づくり

新しく購入した本や、話題の本にはポップをつけて入口に置き、閲覧しやすくしている。また、館内の装飾やポスター等の作成・掲示を行う。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

以上の取組を通して、昨年の来室者数を前期で上回ることができた。特に来室アップキャンペーンでは、最初はしおり目当てでの来室だった生徒も、学校図書館で新しい本に触れる機会が多くなることにより、今まで手に取らなかった本にも挑戦するなど、読書に親しむ様子が見受けられるようになった。また、これらの取組は図書委員会の生徒の自主的で能動的な活動により成り立ったため、それを促すことで、活発な委員会活動が実現したことも、成果の1つである。

(2) 課題

上記の実践によって一定の成果が得られたが、生徒の読書に対する意欲や学校図書館の活用が依然として近隣の中学校より低めである。

(3) おわりに

今後は、図書館の本を学級文庫として貸出す取組などを取り入れながら、たくさんの本に生徒が触れる機会を増やし、読書活動の推進に努める。